

# 「新之助」生育速報 No. 3

平成30年6月20日  
村上農業普及指導センター

## 1 生育調査ほ・実証ほにおける生育状況（6月20日現在）

### 生育概況

**草丈：やや短 茎数：やや少～少 葉数：やや遅～遅 葉色：並**

- 6月中旬の低温・少日照や6/10～11の強風で、生育はやや停滞
- 茎数は十分に確保され、ほとんどのほ場で中干し開始時期に到達

新之助生育調査ほ・実証ほの調査結果（6月20日現在）

調査場所	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
関川村下関(関川)	5月15日	30	345	7.8	40.0
村上市牛屋(神林)	5月15日	31	442	8.4	38.2
村上市岩沢(朝日)	5月20日	32	408	8.7	39.6
平均	5月16日	31	398	8.3	39.3
指標値	5月15日	35	480	9.4	39.0
【参考：前年平均】	5月17日	28	380	8.0	38.0

## 2 今後の技術対策

### 当面の管理のポイント

#### ◎中干し・溝切りの実施

中干し未実施のほ場では速やかに中干しを開始する。

中干しは、田面に小ヒビが入る程度とし、登熟後半の水持ちを確保するため、大ヒビにならないよう注意する。

うわ根発生促進のため、出穂1か月前（7/15頃）には中干しを終了する。

中干し終了後は間断かん水とし、幼穂形成期以降は飽水管理とする。

#### ◎いもち病対策

梅雨入り後はいもち病に感染しやすい気象条件が続くようになるので、下葉まで丁寧に観察し、病斑を確認した場合は、直ちに粉・液剤で防除する。

#### ◎カメムシ対策

農道・畦畔の定期的な草刈りと水田内雑草対策を徹底する。